

HUMANE INTERNATIONAL NETWORK (HINT)

HINT News Letter No.22 目次

Page1	動き出した漢方薬プロジェクト	
Page2-3	ベトナムスタディツアー報告	酒井 匠
Page3	ベトナム・スタディツアーを振り返る	武井秀彦
Page4	アフリカ事業の現状	高橋 章
Page5	グローバルフェスタジャパン 2005 報告	
Page5-6	2005 年総会・事業報告会	
Page7	2005 年度予算中間報告、会費納入者・寄付者名簿	
Page8	事務局からのお知らせ	

動き出した漢方薬プロジェクト



薬草を作る薬師たち

☆☆☆☆☆☆

ベトナムプロジェクトは、1996 年に始まった少数民族ラグライ族（ヴァントン省ハム・タン県タンハー村）への支援から始まりました。

その支援内容は乳牛の飼育、学校や井戸、無料診療所建設でしたが、現在では次の段階を迎え、薬草園の造成へと成長し、さらに多くの人々の生活を支えています。写真は、新たに生まれた漢方薬医院にて栽培した薬草を乾燥させ、漢方薬を作っている薬師たちの姿です。

皆さまの、さらなるご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

ベトナムスタディツアー報告

HINT 監査 酒井 匠

HINT メンバー 4 名で、8 月 4 日から 9 日までベトナムスタディツアーに行きました。

成田空港で、今回が初海外旅行になるメンバーに「実は怪しい人は靴やパンツを脱がされるらしいよ」なんてふざけて言っていた酒井のベルトが、見事探知機にひっかかりました。

その結果、検査官の前でベルトを外し靴まで脱ぐことに(!?) なったものの、概ね順調なツアーになりました。(パンツも脱ごうかとしたんですが、悪ふざけする空気ではなかったようです)



スタディツアーメンバー

今回のツアーの目的は、ホアン司教が運営する薬草園プロジェクト(牛豚飼育、薬草栽培、漢方薬精製など)の確認及び意見交換と、タン・ハー村のラグライ族コミュニティでの母子健康手帳作成でした。

母子健康手帳作成といえば、3 年前のことが思い出されます。酒井は前回、インスタントカメラとデジタルカメラでの撮影役としてタン・ハー村を訪問していますので、今回で 2 回目。あの時の子供たちがどのくらい大きくなっただろう、と再会を期待しての訪越だったのですが、残念ながら「健康手帳作り」は諸般の事情から今回は叶わず、



訪問時間の多くをホアン司教プロジェクトの視察と意見交換に使いました。

◇薬草園プロジェクト

3 年前、私たちがホアン司教から示された「今後のプロジェクト」とは、次の内容でした。

- 1) タン・ハー村に漢方薬の農園を開墾・運営したい。
- 2) 初等教育を終えた現地の子供たちをホー・チ・ミン・シティの高等教育機関に就学させ、漢方医学・漢方薬を履修させたい。
- 3) 当面は既に資格を持つスタッフが漢方薬農園の維持管理を行ない、ラグライ族コミュニティを含むタン・ハー村全体の医療行為と、医薬品(漢方薬)処方を行なって村全体の保健医療面に資するよう支援を行なっていく。
- 4) 将来的には、ホー・チ・ミン・シティにて漢方医、漢方薬剤師の資格を取得した履修生たちをタン・ハー村に戻し、この漢方薬農園の管理運営と医療行為、医薬品調合等を担わせていきたい。

実際に 3 年前に現地で何があったかといえば、二つの教会施設と何も無い土地だけでした。施設も何も無い代わりにホアン司教の熱い夢がそこにはあり、進藤代表、そして同行した全てのメンバーが、その大きすぎるホアン師の構想と夢に若干の逡巡を覚えたことを、今も記憶しています。

そして今年。現地に到着し、ホアン司教の施設で私たちが眼にしたものは、相変わらぬ赤土と何も無い敷地……ではなく、赤土を抜けたところに広がる一大プランテーションでした。



これが薬草になります

◇ハコモノではなく、人を育てる器をつくる

3年前何もなかったその土地には、漢方薬を育てるグリーンハウス、ハーブを植える土地、糞をエネルギーとして煮炊きに活用する豚舎、少数民族のために貴重な栄養源のミルクを搾乳する牛舎、とうもろこしや米の栽培を行なう広大な敷地……など、見渡す限りの一大農園が展開されていました。このうちグリーンハウスについては HINT から援助を行いました。驚いたのは農業を専門的に学んだわけでもないホアン司教自らが、すべての運営を行なっており、それらが現地の貧しい人たちのためのものとして機能しているのです。

我々日本の市民団体が、どんな支援活動ができるか、という答えがここにあると感じます。基本的なスタンスとして、巨額な支援金で「ハコモノ」を次々に作るよりも、現地を継続して支えていく人を育て、そのための器を作ることの方が大切ではないかと思うのです。

これこそが、我々 HINT が今後も支援活動

として大切にすべき方向性だろうと、施設の上に広がる高い空と一面に広がる広大な農園を眺めながら、私はずっとそんなことを考えていました。

ベトナム・スタディーツアーを振り返る

中学校教諭 武井 秀彦

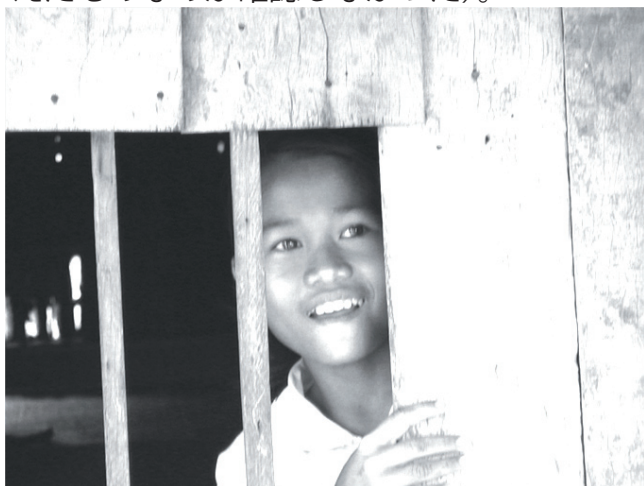
飛行機から見下ろしたベトナム、ホーチ・ミン・シティ周辺は緑の絨毯。うわー、原生林かア。すごいなあ、さすが南国だあ。と緑の多さに感動したのである。が、後にこれが全てフランス植民地時代に植えられた広大なゴム園だと知る。権力って（金があるって）凄まじいものなんだ。圧倒的な力の前にただ当時の人たちは従わされたのだろうか。

翌8月5日、かねてより話題の、ラグライ族の村に行く。もっと山奥の、囲まれたら怖いような人々がいるのかと思っていたが、予想は完全に裏切られ、煉瓦造りの家や、さらにコンクリで外壁を塗り上げ、きれいな色に仕上げられたこざっぱりとした



ヒントの援助で作られた井戸

家が何軒もある。が、その脇にはトタン屋根や瓦屋根、竹を編んだり木の板を張って外壁（内壁なんてないのだ）にした家などもなっている。よく見るとさすがに今では住んでいないようだが、ちょっと前には使っていたと思われる高床式の小屋もあった。もちろん屋根は茅ぶきのような植物性のもので、壁板ではなく藁というか丈夫な草の茎を束ねて雨風を防ぐといった風情だ。その家々に清潔で新鮮な「飲める水」を提供しているのが H I N T が支援した井戸だ。水質がよいために他の村からも水をもらいに来る人がいるという。周囲にはパパイアの木やカシューナッツの木がはえている（植えたものなのか確認しなかった）。



ラグライ族の女の子

水道からほど近い家で、少女が一人留守番をしていた。開け放した勝手口にかまどはなく、土の上に五徳を置き、炭ではなく薪を燃やしてバナナを蒸していた。少女ははにかみながら、家族構成や、自分の年齢、だれのために調理をしているのかを話してくれた。彼女は裸足で、家のなかは全て土間。その土の上にベッドがあり、ベッドの下はニワトリのねぐらだった。6、70 年前の日本の農村の生活を思わせる。部屋を照らす明かりはないのに、しかしテレビはある。アンバランスな印象を受けるが、これが今のベトナムなのだった。

アフリカ事業の現状

アフリカ担当 高橋 章

1994 年から行われている、コンゴ民主共和国の学生に対する奨学金支援事業は、当初 6 名の大学生からスタートしました。その後援助を受ける学生も増え、11 名が大学等を卒業し、医師、教師、公務員などそれぞれの職業で活躍しています。

現在では、大学生 4 名の奨学金支援と、30 名の小中学生への学費援助を行っています。2004 年 5 月には、国連 FAO 連絡調整担当官が現地を視察し、農業開発プロジェクトについての協力が話し合われました。

これからも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

ワタキシさん入院のための 緊急募金のお礼と報告

2005 年 8 月に現地からワタキシさんの心臓治療のため、至急入院加療が必要との連絡がありました。ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。皆様のご好意により、22 万円の募金をいただきまして、早速送金しました。早期に回復されることをお祈りいたしております。皆様の温かいお気持ち、本当にありがとうございました。

写真はコーディネーターのムサギさん（左）とワタキシさん（右）ご夫妻です



グローバルフェスタ JAPAN2005 に参加しました

季節外れの夏日となった 10 月 3、4 日に「グローバルフェスタ JAPAN2005（国際協力フェスティバルを改称）」が開催されました。暑すぎる天気の子なのか、名称が変わったためなのか、人出はいまひとつでしたが、そんな中、太陽にも負けないほど元気な 3 人娘がお手伝いに来てくださいました。その中のお一人、長屋梨恵さんの感想をどうぞ。

長屋梨恵さんは現在サッポロビールのコマーシャルに出演中です。

～○～○～○～○～○～

国士舘大学 4 年 長屋梨恵

今回、初めてグローバルフェスタに参加して、私はすごい多くのボランティアの団体があることに、とても驚きました。私がベトナムにいたときに、スタディツアーと一緒に同行させていただいた HINT の皆さんも出店し、ベトナム雑貨などを売っていました。

その雑貨はスタディツアーのとき私も一緒に選んだりしたので、売れるか、売れないかドキドキ♡していました。なかなか売れないときもあったけど、みんなで声をだして、買ってくれたときはとても嬉しかったです。このお金がまたベトナムやコンゴ民主共和国の人たちのためになるって、本当に素晴らしいことだと思っていました。



ワークショップでツアーを語る長屋さん

2005 年度総会・事業報告会

日時：2005 年 7 月 2 日（日）
14：00～16：00

場所：真生会館 第 1 会議室
新宿区信濃町 33-4
真生会館ビル 1 階

正会員数 23 名 出席会員数 12 名

1 2004 年度事業報告

進藤代表、アフリカ担当高橋理事、長野理事よりそれぞれの事業について、報告があった。（詳細については事務局保管の議事録を参照してください）

2 2004 年度決算報告

次ページのとおり

3 2004 年度監査報告

監査担当役員からの報告通り了承された。

4 2005 年度役員の改選

代表	進藤重光（再任）
事務局長	石田達也（再任）
事務局長代行	長野圭子（再任）
アフリカ担当	高橋 章（再任）
ベトナム担当	末吉孝幸（再任）
会計担当	高橋宗嗣（再任）
助成金担当	桐山泰柁（再任）
システム情報担当	津田直美（新任）
監査	酒井 匠（再任）

5 2005 年度事業計画

進藤代表、長野理事よりそれぞれの事業について、説明があった。（詳細については事務局保管の議事録を参照してください）

6 2005 年度予算計画

次ページのとおり

..... 新任役員よりの挨拶

この度、HINT のシステム情報担当役員として務めさせていただくことになりました津田です。HINT の情報のみならず、いろいろな情報を会報、ホームページ、メールなどを通して届けたいと思っています。よろしく願いいたします。

2 2004 年度決算報告 (2004 年 5 月 1 日～2005 年 4 月 30 日)

単位：円	
収入の部	
1. 会費収入	
正会員収入	155,000
賛助会員収入	776,000
2. 事業収入	
講演会・学習会	0
普及啓発事業収入	162,611
3. 寄付金収入	
会員寄付金収入	962,395
4. 助成金収入	
助成金収入	0
5. その他	
受取利息	0
当期収入合計 (A)	2,056,006
前期繰越金	314,834
収入合計 (B)	2,370,840
支出の部	
1. 事業費	
経済的支援事業	
ベトナム保健医療支援事業	162,450
コンゴ学資援助事業	1,775,668
普及啓発事業費	99,908
広報事業費	27,040
事業費 合計	2,065,066
2. 管理費	
通信費	13,490
会議費	0
旅費交通費	5,000
事務用品費	1,898
消耗品費	0
図書費	0
渉外費	0
租税公課	70,000
印刷費	0
雑費	35,049
管理費 合計	125,437
3. 予備費	
予備費	0
当期支出合計 (C)	2,190,503
当期収支差額 (A) - (C)	▲ 134,497
次期繰越収支差額 (B) - (C)	180,337

5 2005 年度予算計画 (2005 年 5 月 1 日～2006 年 4 月 30 日)

単位：円	
収入の部	
1. 会費収入	
正会員収入	230,000
賛助会員収入	770,000
2. 事業収入	
講演会・学習会	10,000
普及啓発事業収入	170,000
3. 寄付金収入	
会員寄付金収入	700,000
4. 助成金収入	
助成金収入	0
5. その他	
受取利息	0
当期収入合計 (A)	1,880,000
前期繰越金	180,337
収入合計 (B)	2,060,337
支出の部	
1. 事業費	
経済的支援事業	
ベトナム保健医療支援事業	160,000
コンゴ学資援助事業	1,500,000
普及啓発事業費	100,000
広報事業費	30,000
事業費 合計	1,790,000
2. 管理費	
通信費	30,000
会議費	30,000
旅費交通費	20,000
事務用品費	30,000
消耗品費	30,000
図書費	30,000
渉外費	30,000
租税公課	5,000
印刷費	30,000
雑費	35,337
管理費 合計	270,337
当期支出合計 (C)	2,060,337

●会費納入のお願い

HINT は皆様の会費で運営されています。

お振込みは同封の振込用紙を使用していただくか、下記口座へお振込みくださいますよう、お願いします。

お振込用紙は郵便局から HINT 事務局へコピーが送られてきます。ご記入の際はお名前、ご住所等は楷書で分かりやすくお書きいただきますよう、お願いいたします。

○賛助会員：1 口 5,000 円から ○学生会員：1 口 2,000 円から

*** 会費の振込先 ***

■郵便振替口座：00120-2-47868

口座名義：ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

■銀行口座：三井住友銀行 新宿支店 普通預金 3390001

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク

2005 年度中間報告
(2005 年 5 月 1 日～2005 年 10 月 31 日)

会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿
(2005 年 5 月 1 日～2005 年 10 月 31 日・敬称略 順不同)

		単位：円
収入の部		
1.	会費収入	
	正会員収入	90,000
	賛助会員収入	275,000
2.	事業収入	
	講演会・学習会	0
	普及啓発事業収入	75,930
3.	寄付金収入	
	会員寄付金収入	144,349
4.	助成金収入	
	助成金収入	0
5.	その他	
	受取利息	0
当期収入合計 (A)		585,279
前期繰越金		180,337
収入合計 (B)		765,616
支出の部		
1.	事業費	
	経済的支援事業	
	ベトナム保健医療支援事業	272,770
	コンゴ学資援助事業	221,140
	普及啓発事業費	48,756
	広報事業費	0
	事業費 合計	542,666
2.	管理費	
	通信費	12,200
	会議費	0
	旅費交通費	0
	事務用品費	0
	消耗品費	0
	図書費	0
	渉外費	0
	租税公課	2,300
	印刷費	0
	雑費	4,960
	管理費 合計	19,460
当期支出合計 (C)		562,126
当期収支差額 (A) - (C)		23,153
次期繰越収支差額 (B) - (C)		203,490

安藤 秀樹	新垣 まり
石田 忠弘・澄子	末永 恵子
石田 達也・倫子	末吉 孝幸
石間 裕	末永 秀雄、美津代
市川 幸一	鈴木 徳保・浜子
斎 聡子	副島 和穂
岩田 光平	高沢 佳代乃
内田 武秀	高橋 章
梅津 惇男	高橋 伸一
海野 幸江	高橋 宗嗣
岡田 多恵子	田中 京子
オリビエ シェガレ神父	津田 直幸
加藤 順子	都藤 清美
川井 貞子	椿野 和男
川上 立太郎	寺田 京
神山 和美	徳島 巖
岸田 万紀子	長野 圭子
北川 裕美子	西 道弘
木下 はるみ	野坂 俊弥
桐山 泰粧	支倉 崇晴
久保 幹男	比嘉 勇也
熊切 恭子	比留間 博之
古城 かほる	藤井 靖彦
國府 俊明	船山 幸哉
小宮山 俊子	三上 里美
佐賀 邦夫	三宅 英美子
酒井 匠	宮坂 芙美
桜井 祥子	宮本 武夫・龍子
櫻井 洋	村上 夫光子
GA コンサルタンツ	村田 志津
勝本健司	山田 篤
品田 和之	行山 武志
篠塚 彰・久美子	渡邊 誠一
嶋田 雅嗣	匿名の皆様
島田 恒	

ご支援・ご協力ありがとうございました

※上記期間内に会費を納入されている方やご寄付をいただいている方で、名簿に載っていない方は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

※ HINT は皆様の会費で運営されています。

2 年間会費のお振り込みの内場合は会員資格を失い、今後ニュースレター等の送付が行われなくなります。

封筒ラベルの一番下にある日付が、あなたの最終振込日です。

振込先は 6 頁をご参照下さい。

引き続きご支援下さいますよう、お願いいたします。

事務局からのお知らせ

<活動報告>

○ 2005 年度 HINT 総会を開催しました。

日時：2005 年 7 月 2 日（土）
場所：真生会館
P.5 ～ 6 に総会報告があります。

○ 「グローバルフェスタ JAPAN 2005」に出展しました。

日時：2005 年 10 月 1 日（土）～ 2 日（日）
場所：日比谷公園
好天に恵まれ、ベトナム雑貨やアフリカのカードを紹介し、HINT の PR に努めました。ワークショップでは、ベトナムスタディツアーの様子を交えて、活動紹介をしました。P.5 も併せてお読みください。

<今後の活動>

○ NPO まつり 2005 に出展します。

日時：2005 年 12 月 3 日（土）～ 4 日（日）
場所：代々木公園 野外ステージ前
HINT ブースは 46 番ですたくさんの方のご来場をお待ちしています。飛び込みボランティアも大歓迎です

○ 記事掲載のお知らせ

本会のベトナムプロジェクトについての詳細記事が、月刊『福音宣教』12 月号（オリエンス宗教研究所刊）に大きく掲載されました。お近くのキリスト教書店などでご覧いただければ幸いです。

三陸書房ホームページのウェブマガジン『オリヴ 11 月号』でも本会を取り上げています。どうぞ、ご覧になってみてください。

www.sanriku-pub.jp

エポペクリスマスパーティーのお知らせ

HINT の生まれるきっかけとなった、エポペでのクリスマスを皆さんと一緒に祝いましょう。

日時：2005 年 12 月 24 日（土） 19:00～

場所：エポペ 新宿区歌舞伎町 1-2-8
第 2 ウィザードセブン 4 F

会費：5000 円

詳しくはエポペまでお問い合わせください。

エポペ電話：03-3232-8363（夜間）

メール：epopee@epopee.co.jp

お手伝いください!!

HINT はサラリーマンが中心になって活動をしています。2 足のわらじは時には忙しく、目は回っても、手が回らないことがあります。お手伝いして下さる方を募集しています。

パソコンが得意な方、名簿の管理をお願いします。計算が得意な方、会計のお手伝いをお願いします。金はないが力はある方、イベントの荷物運びを手伝ってください。ほかにもいくらでも仕事があります。あなたにもきっと出来ることがあります。

理事会は毎月最終土曜日 16:00 からエポペで開催しています。会員にならなくても、役員にならなくても、どなたでもご参加いただけます。一度のぞいてみませんか。

<特定非営利活動法人 ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク 事務局>

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町 1-2-8 第 2 ウィザードセブン 4F エポペ内

☎：03-3232-8363 fax：03-5272-3040

E-mail：hint@epopee.co.jp

<http://hint.epopee.co.jp/>